

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第35号
2011年6月16日
☎: 3605-5594
<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>

第5回歌声喫茶 最高の参加者56名 大きな声をだし元気になる

東日本大震災から3カ月近くが経つ、6月5日の午後、かばらデイサービスに歌声の花が咲きました。

大震災の後、自粛ムードが広がり4月の花見もありません、気分がすっきりしない雰囲気がありました。友の会役員会は、歌声喫茶を開



いて大きな声で好きな歌を思い切り歌い気分を爽快にした方がよいので思い切って歌声喫茶の開催を決めました。

職員の地域へのビラまきや今まで参加された方への呼びかけを行いました、どの位集まるか不安もありました。

ふたを開けると梅雨の晴れ間みたい会場いっぱいの人でうずまり、これまでの最高の56名の参加者がありました。

途中2回の休憩をはさみ行いました。1部では前に出て歌う人がチラホラでしたが、昔なつかしいナツメロや若い頃に歌った「思い出」の歌が次々とリクエストされ、みなさんの気分も高まり大勢の方が前に出て歌い、盛り上がりました。

2部のオープニングは、かばら

看護・介護の相談会

いつ 毎月、第3木曜日10時
どこで 小児科診察室

普段、受診しても先生と相談する時間がなく困っていること・わからないことなど相談ができます。

7月は21日10時

健康祭りなどですばらしい声を披露してくれた男性コーラス「フォルテ」の友情出演があり男性4部合唱にうっとりさせられました。

節電のためエアコンを使わずかなり暑くなってきましたが、みなさん歌うたびに気分もよくなりました。というまに3時間が過ぎ、最後



は、「上を向いて歩こう」、「ふるさと」をしみじみとうたい、一時の楽しさを胸に家路へつきました。

今回、始めて参加された方も「よかったよ」といって帰られました。今回は、アコーディオンがなく残念、その分、ピアノの先生が全曲弾いて下さり、感謝の一言です。

テーブルの花やコーディネート、お茶の用意など、多くの方の協力があったからこそ手作り歌声喫茶。またいつか、お会いしましょう。

震災義援金

会費の一部を入れさせていただきました。七六〇〇円になりました。

報告 種家昌子

東和3丁目班

「すみれ」と命名

楽しい班会にやっと「すみれ」と名が付きました。「すみれ」の花言葉は「誠実」です。月1回の集まりに仲間達が早々に集まって来ます。みなさん親切な指導のもとにアクセサリー作りや夢中になります。出来上がった時は少女の様に喜び見せ合います。「可愛いです」とか言いながら。タイトムのお話もさわ



やかに老後の夢が広がります。すみれ班を心地良い居場所にして絆を深めて行きたいと思っております。是非、1度お遊びにいらつしやいませんか。(担当・金子敏子)

綾瀬訪問看護ステーション

移転のお知らせ

蒲原グループで訪問看護を受け持つ、綾瀬訪問看護ステーションが下記に移転しました。

訪問看護・介護などの問い合わせは新しいステーションまでお願いします。

住所：足立区綾瀬1-29-10-1階

電話：6662-5741

FAX：6662-5742 5月28日より

故郷の明暗（ ）

道路の選択で生死が分かれる

私の身内に今回の大震災で犠牲者は出ませんでした。しかし旧知の友人からは残念ながら死者が出てしまいました。「享年六十三歳」昭和二年生まれで誕生日は私が二十日早いです。義弟からその話を聞いて塩釜市の自宅に弔間に行きました。故人の奥さんもその妹さんとも私たちが夫婦と高校生時代から付き合いがあったので、何年振りかの再会になりました。それも彼の遺影を前にしてだったので、



心中は複雑なものがありました。その遺族から聞いた話では、津波から逃れる途中に車もろとも巻き込まれたそうです。彼の勤務先は仙台新港の流通会社でした。その会社には3月11日の地震発生当時20数人の従業員が働いていたと言っています。

した。大津波警報が出され港に隣接していた会社だったので、一斉にマイカーに乗り込み海岸側から離れようとした。幹線道路に出れば早く進むと左右に分かれる道があり、会社の同僚たちはどちらかを選ぶ。咄嗟の判断が求められたと言った。そして亡くなった彼と同僚のもう1台が選んだそれは、帰らぬ人の道になってしまいました。一方、反対側の道を選んだ社員はみな無事だったと言いました。これらの話を「助かった会社の人から聞いた」と彼の妻は言いました。うちひしがれた横顔が痛々しく見えました。そして「朝元気に出て行ったのに…」と続く言葉に悔しさがにじみ出ていました。災害時にどのような選択をするか。その結果の明暗について「運」の一言で片付けて良いものかどうか疑問が湧きますが、それ以外の言葉を探す事は容易ではありません。彼の突然の死によって、その難しさをしみじみ噛み締めながら遺影に合掌して帰ってきました。 次回に続く

蒲原グループ・職員紹介

かばらデイサービス

松村佐知子さん

生れは埼玉県草加市、その後、



江戸川区に移り住み、現在は所帯を持ち足立区民

なっています。

趣味は音楽鑑賞と子育て。仕事については「自分がまず楽しんで仕事をする。笑顔を忘れずに…」と言ったことを常々心がけていると言います。

家族は夫と2歳10ヶ月になる娘さんの3人家族。どの親でも同じ気持ちでしょうが「娘がすこやかに育つこと」を何よりの願いに子育てに張り切る毎日です。そして職場のデイサービスでは持ち前の明るさで利用者さんに接し、どの利用者さんからも慕われています。その人柄は、今の仕事を天職と思ひ、精一杯励んでいることの証だと考えます。

これからも親子3人幸せな家庭で過ごせるよう祈りたいと思います。

神田大地君

出身地は東京都板橋区、現在も



そこからは通勤しています。愛車に乗っています。

たがって自宅から職場まで約40分で着くと言いました。趣味はそのバイクを使っているツーリング、それに寺院仏閣巡りゲームにはまっています。仕事のモットーは「相手の立場に立って業務を行うこと」を自分に言い聞かせながら、利用者さんのために汗を流す毎日を送っています。家族はご両親、弟の4人家族です。神田君は「日本一周ぶらり旅に行くこと」がもつかの目標だと言っています。

神田君は私が手伝って欲しいことにも、いやな顔一つ見せず率先して引き受けてくれています。蒲原ビルで仕事をする職員の中で、もう一人加わった頼もしい青年職員の入職にみなさんと一緒に歓迎の拍手を送りたいと思います。

担当 嶺岸 宏

住宅デーは6月5日(日)綾瀬4丁目にある住宅地内の蛭沼公園で行われました。ここはあまり人

青空健康チェックを行う



の行き来する公園ではない様に見えます。小じんまりしていて駅前ハト公園には及ばずの感じがしました。そのためあつて土建の人達が中

心で他の参加者は少ないようです。チェック項目は血圧測定、体脂肪測定でした。それでも40名ぐらいの方が来て測定をしました。その中には血圧が高い、体脂肪も平均値より多いと言う人が見受けられ、規則な生活が原因と考えられます。足立区の特定健診の時期が来ているのでしっかりと健診を受け、自分の体の状態を知って生活をしていってほしいと思います。

担当 美田恵子